

特許「跨座式モノレールの軌道点検装置」

特許出願人 株式会社かんこう、株式会社計測リサーチコンサルタント

発明人 大前 雄史、西村 正三

平成 19 年 11 月 29 日 特願 2007-308763

平成 21 年 6 月 18 日 特開 2009-133670

平成 23 年 10 月 25 日 意見書、手続補正書提出。

平成 23 年 12 月 1 日 審決により、特許として審判を受ける。

特許概要

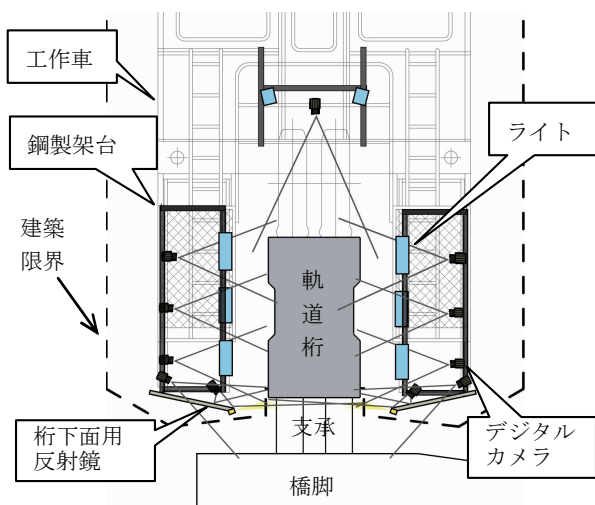
【課題】

モノレールは、道路上空に設けられた高架軌道上を走行していることから、軌道桁のひび割れ等の変状調査が容易ではない。従来は、夜間の 3 時間程度の間を目視確認により調査が行われていたが、高所で短時間の作業となり全箇所調査が未実施であった。特に、構造的にひび割れ等の変状が発生しやすい軌道桁下面については、建築限界の制約やケールラックが設置されていることから調査ができていなかった。

【解決手段】

軌道桁下面の変状を調査するため、夜間作業用の工作車前面に鋼製架台を設置し、鋼製架台の下部に反射鏡を設置したフレームを取付け、反射画像をデジタルカメラで撮影する装置を開発した。この装置により、調査できていなかった桁下面の変状を把握することが可能となった。

【装置図及び写真】



装置図



装置写真